

「肥満症」は病院で治療ができます！

肥満症外来のご案内

当院では、生活習慣の改善だけでは十分な効果が得られない肥満症患者さんを対象に、肥満症の専門外来を設けております。

肥満症治療薬であるGLP-1受容体作動薬「ウゴービ」、GIP/GLP-1受容体作動薬「ゼップバウンド」による薬物治療もおこなっており、当院では**内分泌代謝内科**、**循環器内科**、**肝臓内科**で連携し肥満症治療に取り組んでいます。肥満症でお困りの方は肥満症外来を受診してください。

肥満症薬物治療の適応基準

糖尿病・高血圧・脂質異常症のいずれかの薬物療法中で

- 1) **BMI35以上** → 治療対象
- 2) **BMI27以上**で、以下の**健康障害を1つ以上** → 治療対象

- ① 耐糖能異常
- ② 脂質異常症
- ③ 高血圧
- ④ 高尿酸血症・痛風
- ⑤ 冠動脈疾患
- ⑥ 脳梗塞・一過性脳虚血発作
- ⑦ 非アルコール性脂肪性肝疾患
- ⑧ 月経異常・女性不妊
- ⑨ 閉塞性睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群
- ⑩ 運動器疾患
(変形性関節症：膝関節、股関節、手指関節、変形性脊椎症)
- ⑪ 肥満関連腎臓病

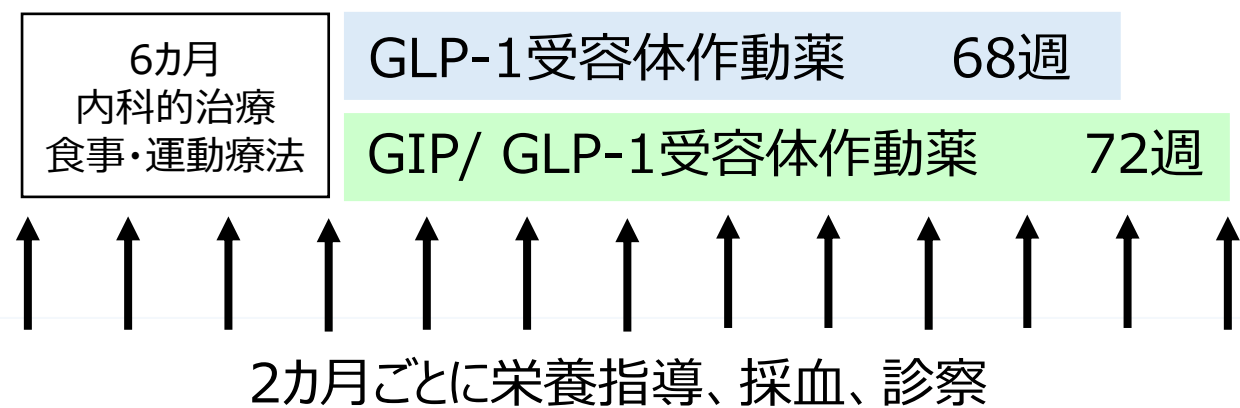
肥満「症」とは？

肥満症は、肥満に伴い、健康を脅かす合併症（健康障害）がある、または健康障害を生じるリスクが高い状態です。

肥満とは異なり、**肥満症は治療の対象となります。**

肥満には、ライフスタイル以外にも、遺伝、環境、生理的/心理社会的要因など様々な要因が関係しており、生活習慣への介入や患者さんの自助努力だけでは解決できない場合もあります。

肥満症薬物治療計画



なぜ肥満症治療が必要か？

肥満がもたらす健康障害は、まるでドミノが倒れるように、脳卒中や心筋梗塞など命にかかわる深刻な病気につながる可能性があります。肥満症を治療する目的は、減量によって健康障害を予防・改善することです。

ご紹介 お問い合わせ

産業医科大学病院 地域連携室

☎ 093-691-7666

FAX 0120-927-489

WEB予約できます。